

地域医療

あがの市かわら版

第5号

新病院の骨組みが完了
年明けからは外壁工事に着手予定

11月28日撮影



病院裏側（南面）



病院側面（西面）

10月10日から始まった鉄骨の建て方が、2カ月間に渡る作業の末、今月の10日までに予定どおり完了し、新病院の骨組みが姿を現しました。

新病院は、6階建て（6階は機械室）、地上25.3mの建物で、阿賀野市内で最も高い建物となります。

一方、建物内では、各階の床工事が、鉄骨建て方の進捗に合わせて行われています。この作業は、鋼製の型枠を敷き詰めた上に、鉄筋を配筋して強度を確保した後、コンクリートを打設するものです。床工事は、しばらく続く見込みです。また、年明けからは外壁工事に着手する予定です。



水原本町商店街で「イルミフェスタ 2014」を開催しています。12/6～1/6まで 点灯時間 16:30～20:00

第一回水原郷病院祭・地域医療フォーラム
大盛況！市民約550人集う

水原郷病院では、11月8日（土）に、水原郷病院祭と併せて地域医療フォーラムを開催しました。病院職員は、白衣の上には鮮やかなデザインの帽子を着て、訪れた市民を笑顔で出迎え、各種イベント



J A北蒲みなみ 小林組合長

J Aささかみ 清田組合長

尾崎院長

田中市長



発行：阿賀野市 民生部 地域医療推進課

平成26年12月11日

TEL 0250-61-2503（直通）

FAX 0250-62-0281

E-mail: chiikiryo@city.agano.niigata.jp



包括ケアシステム構築の鍵

顔の見える関係を！（多職種連携研修会）

に勧誘していました。頭微鏡による標本見学、手洗いチェック、骨密度測定やロコモ予防体操、職員によるコーラスなど、どの会場も子どもからお年寄りまで大勢の市民で賑わっていました。

また、特別講演では「健康寿命を延ばすーじん臓にやさしい生活」と題し、新潟大学第二内科教授成田一衛氏より、ユーモアを交えた分かりやすい健康長寿の鍵を御講演いただきました。

参加者からは「腎臓がいかに大切かわかった」「よい生活習慣を続けていこうと決心しました」等の声が聞かれました。

去る12月6日（土）に、阿賀野市では、医療と介護の一層の連携を図るため、多職種による研修会を開催しました。病院や医師会、歯科医師会、居宅支援事業所に声かけさせていただきました。130人もの参加者がありました。講演では、ケアタウン総合研究所（東京）高室成幸氏から、「地域包括ケアと多職種連携について」分かりやすく説明を受け、話題提供では、特別養護老人ホームシンパシーの小野知夫施設長、安田診療所の斉藤敬院長、水原郷病院の高野嘉昭先生から、現状の報告をいただき、その後グループワークを行いました。

日頃、直接顔を合わせることに少ない関係者が、一同に会することは初めてのことでしたが、めざす方向性の共有ができ、グループワークや発表により、より具体的な手段を明確にすることができました。参加者からは、多職種が連携することの大切さを痛感する声が聞かれ、早速顔見せから始めたいという声も聞かれました。



「すーじん臓にやさしい生活」
学総合病院
教授 成田 一衛